

エッセー 女のアイニコ

● 41

ケリー・正代

ほくは沖地で生まれ、育ると、すかさず島田(生まのほ)はけんかをす
った。父はアメリカ人で母 婦人が、まさか、うそしるど、アメリカ」ヒ
を仲間ではアイノコ、混血
呢、ハーフ、アメリカな
どと呼ぶ、呼び方なんて同
題じゃない。ほくたちを色
めがねして普通に思てく
れるが、どうかだけが問題
なのだ。これらの呼び方を
差別化を思っている人も多
い。妙にちやうちよじり、
は発音のみ込んだり、戦中
戦後にははたわりのある
言葉で、



「アイノコって何？」 肌の色や容姿の違いを意識

「アイノコ」と呼ばれたので、ナショナルスクール幼稚
それらは悪口であると思 髪の色、顔つき、声して、
い、は反抗する時、同 髪の色、顔つき、声して、
は、宗教、国籍の異なる多 入社会に馴染むと思われて
ラスメートと「仲間を過 いるのがはたさである。
さすまい」。



イラスト：友野豊彦

「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき
「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき

「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき
「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき

「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき
「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき

混血児の独り言

「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき
「アイノコ」は、自分がかかると思
は、自分がかかると思
なるとはさくさくもな
った。保母さん入ったとき

エッセー 女のアンテナ

● 37

ケリー・正代

置いていることが多い。私の暮らした範囲では日本人歴務的記録はモレタリーな存在である。

(母配)が、今の歴史はE 戦後戦時世代は二十一ストリアンが短く次へ伝 世紀初頭と後世を迎えるのである。現在の活動 超階級社会が来るのは助を得るへ継承発展させるに かがない中実である。自は、ヒストリアンの仕事は 分たつてもうころには年 欠くことのできないもので 命前歴は感懐しているが、 たくえちもその実質的に 外国人と話していると歴 目録して生活できないの 史、特に第二次世界大戦に ではなく心配している人は意 関する情報と価値の、日 外に多い。どうしようもな 本人との差にが然とする いことを心懸するのは時間

ための健康、時間、経済力 預し、友好親戚をもも自 が自分にはあると言えよ らの活性化を目的とする中 うになりたい。年金が日本 高齢者の組織で、多くの実 で生活するには十分でなく 額を添けている。志た健康 とも、他の国々ではずっと 六十代に夫婦や友人同士 で海外で暮らす機会を得 師資がある。 日本シルバーボランティア、 アス山東京都千代田区 あり。毎日を意義ある日曜

世の中が絶えまきながら 嗜好の機会があった。 愛、このうちのどれが欠け ても歴史を教えることはで らなかったのは、戦後のと きに思われる。山地の 本人との差にが然とする いことを心懸するのは時間

世の中が絶えまきながら 嗜好の機会があった。 愛、このうちのどれが欠け ても歴史を教えることはで らなかったのは、戦後のと きに思われる。山地の 本人との差にが然とする いことを心懸するのは時間



自分史を書こう

発想の転換で明るい老後を

さくさくのせいを打まき ねき水糸源流とし渤海に注 ことがあ。ある程度の差 の無駄であるから、発想を えていたが、ともそんな ぐ公認を感得することなし は当然としても、同時代の 転換した方がよい。

出陣な理由ではなく、思っ 地政家族の二四としての現 定年までび々と動いたの 神田須田町一ノ四ノ三 日にしている人は確実期

「マスコミ機動隊」で日 聞にわたって行われた日本 国民の昭和史中にも、 知らされた二百回であっ が、歴史を思ふ給物官、 歴史を思ふ給物官、 歴史を思ふ給物官、 歴史を思ふ給物官、

高齢化社会への対応

ついでながら欧米では婦 点から、その差の存在する だから老後は楽をしたいと 自の知識、技術、経験と 紀を正しく伝えられるよ

人會や青少年団体でも会 ない。例えは、リビングの に支えられて仕事を続け 幸ひの精神をもって開発途 上地域に協力するでも、 激動の時代に生きたくを

長 壽記、會計の他にヒス「パター」テスマーチ完 きたので、これからは他人 上の地域に協力するでも、 激動の時代に生きたくを

トリー(歴史記録係)を 行進)を知らないのは、 のために役立たない。その に、その地の文化を理解 感謝しながら。



エッセー 女のアイニテナ

——ケリー・正代

●●33

法律上の男女差別の最後「法例」(明治三十一年制定)合意の上で投票に届けを出したので取り除かれよう。定の一部改正法律案原稿として送っている。このビッグ・ニュースの新聞での取り扱いは小々目立たなかったが、関心を持つ者にとって、は国際法改正以来の明報として、何れももうれしくリスミス・セントであった。



離婚での男女平等

法例の改正で制度上は整備

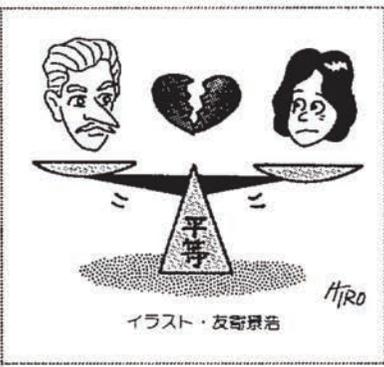
土曜二十日付の新聞報 案決定した。これは法制 迎に於ては、法制審議会の 審議会から法務大臣に咨申 国際私法部は十九日、固 されたと、法務省が次期 際結婚などをめぐる訴訟 国会に改正案を提出する予 で、離婚をそれまでの男 定をなしている。

心の差別?

日本夫と外国人妻の離 婚については日本の法律が 適用され、協議離婚も可能 (十年)であり、法例改正

であるが、日本人妻と外国 有終の美となることは、 人夫の場合には、夫婦とも 日本に居住していても、外 国に居住していても、外 國の法律が適用されるので ある。協議離婚を認めてい ても、協議離婚を認めてい ない他国、台湾など、こゝ にも敏感でなければならな 少数で、アメリカをはじめ 多くの国では離婚は裁判所 の許可を必要とするのであ る。

たり、一日入学したいが、 仲間側と同じことがしにく 国際交流は共同体が首 頭をとり、公費をつかって 海外に文化や技術を交 流することで、在沖外国人 や移民の黒潮の子やなど には関係ない。



イラスト・友寄景浩

配座する必要はない。運 転免許試験を英語で実施す の必要はない。() 以上種別による国民本音 外国人登録者は市民税限 の最大公約数である。法律 は改正できるが、心の中の 市民税とは異なる。市 差別を律する法律はない。 民運動場々の使用を一副

エッセー 女のアイニナ

●●9

ケリー・正代

県内のある中学校で、授けられた。業日数定数の理由で何人かの生徒が卒業延期となったため、卒業式に参加できなかったと新聞が報じている。校長はその理由が不明で、卒業式で問題がある生徒など、継続指導の必要があったと語っている。判定委員の結果を踏まえての学校の責任者としての説明である。

目であり、新しい人生の期であるから、卒業式には出席させるべきである。今回の延期は必ずしも処分であるとは批判的ではないが、校長の責任が重く、校長に相成りなされた。その結果、同日までに十七人全員が卒業できるように出席日数の不足が学力不足



日本の「卒業」

はきちがえた平等と自由

期のある中学校で、授けられた。業日数定数の理由で何人かの生徒が卒業延期となったため、卒業式に参加できなかったと新聞が報じている。校長はその理由が不明で、卒業式で問題がある生徒など、継続指導の必要があったと語っている。判定委員の結果を踏まえての学校の責任者としての説明である。

目であり、新しい人生の期であるから、卒業式には出席させるべきである。今回の延期は必ずしも処分であるとは批判的ではないが、校長の責任が重く、校長に相成りなされた。その結果、同日までに十七人全員が卒業できるように出席日数の不足が学力不足

人並みに卒業できないのは、勉強を怠りすぎたか、能力不足か、世間体が悪いと、業をせよと罵られる。なほないう種の保身のための行動から人間みんな平等なのだから、勉強の嫌いな者は無理教育庁の節目論は面白い。向事もセシモノには、日本は自由の国だから、自由もセシモノに終わる。日本人の社会生活である。と叫んでいるのではないだろうか。

この前のプロセスも聞いて見よ。同年生まれの人、増えてきている。努力が、人生の節目を二回と増やしている。努力が、なご運りぬける様は、人ももしい人も同様に平等だろうか。



イラスト・友寄景浩

さてこの十七人の生徒は、はた、スポーツと同じでアメリカではどうなるだろうか。試験の結果が規定点に入れば、本人も親の望みは他人との比較よりも納得のうえで留年になる。ただし、悪い成績から、ひとりの生徒に留年を課せられ、本人も親の望みは他人との比較よりも納得のうえで留年になる。ただし、悪い成績から、ひとりの生徒に留年を課せられ、本人も親の望みは他人との比較よりも納得のうえで留年になる。

留年には懲罰のイメージが強い。しかし、留年には懲罰のイメージが強い。しかし、留年には懲罰のイメージが強い。しかし、留年には懲罰のイメージが強い。

エッセー 女のアイニテナ

5

ケリー・平田正代

終身雇を前提としていた日本の「一生にひとつの仕事」は、女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。

終身雇を前提としていた日本の「一生にひとつの仕事」は、女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。



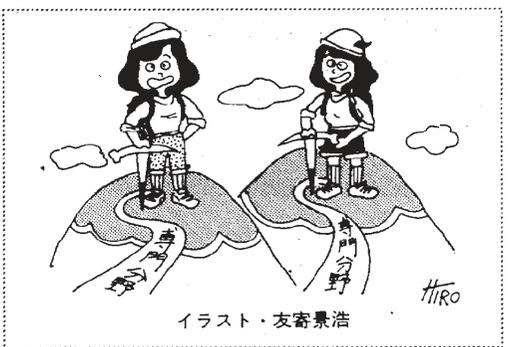
女性の専門知識

社会の活性化に必要

終身雇を前提としていた日本の「一生にひとつの仕事」は、女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。女性が出産育児に時間とエネルギーを割かれた場合、人生で大きな価値があると考えられていた。

門知識があり、その教授法に優れている人というより、自分の専門分野を広げた人生の先輩者として尊敬に値する人の無意識の期待があるものと思われる。一流校を出れば一流の人間と評定され、一生働かず計量は合う。一流校のレッテルが大切に専門や適性は二次的にしか考えられない。アメリカは資格社会である。そのような機会を

て資格を得、従来の経済的自立に結びつけては日本が伝統的に身につけてきたことである。社会的な趣味、教養、スポーツ、睡眠の場である。趣味、教養、スポーツ、睡眠の場である。趣味、教養、スポーツ、睡眠の場である。趣味、教養、スポーツ、睡眠の場である。



イラスト・友寄景浩

「20歳以上も救って」

国籍法改正 関係者答申案に注目

先月、法制審議会の国籍法部会がまとめた国籍法改正要綱案は、県内に多く残されている無国籍児問題で大きな前進のある内容となっているが、来る二十三日には同審議会総会で最終答申がまとめられることになっており、同問題を扱ってきた国際福祉事務所(島本幸子所長)ら関係者は審議の成り行きを注目している。

も救済される」と長年の訴えが実を結び、喜びも大きい。ところが経過措置の条項で二十歳以上が除外されていることについて「長年苦しい思いをしてきた人たちが取り残される」と指摘、年齢に関係のない経過措置を含めた改正を強く求めている。

要綱案の中で県内の関係者が特に評価しているのは、国籍取得で従来の父系血統主義から父母両系主義へと大きく変わる点で「今後無国籍児の発生はなくなり、二十歳未満

国籍法の改正作業は、昨年二月に中間試案が発表され、県内の無国籍児を持つ母親や国際福祉事務所からも具体的問題点を指摘して全面的な改善を要求。それを受けてまとめられたのが今回の改正要綱案になっている。

1984年2月21日(夕刊)

職場の研修で今最も欲しいもの、大切なものをあげさせたところ、ほとんどの人が家族、友人、仕事、持ち家、金をあげたが、それらに優先順位をつけさせたところ金は最下地であった。つまり金はないよりはあった方がよいが、家族や友人があれば金は無くてもよいというのが日本人の平均的考え方である。カネと

もそれが唯一の収入源である限りは保身が職業的自由に優先することは言うまでもない。アメリカで専門職をもった人々の間でダイバーシファイドインカム(収入の多源化)は最大の関心事である。

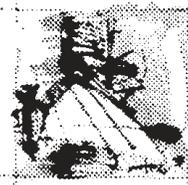
カリフォルニアのゴシェンズキー医師は週三日メキシコ国境近くの貧しい村で無料で医療活動をしている。空軍パイロットのマーク・イーオン大尉は医療奉仕団のボランティアパイロットとして南米へメデ

らの人々は自分も中流以上のライフスタイルを保ちながら、プロフェッショナル・フリーダムを確保しようとしているのである。そこで必要なのは本職以外からの第二の収入である。セカンドインカムという言葉にはアルバイトの後ろめたいイメージはない。経済的自立が職業的自由の一体であることを確信すれば、それに向かつて今できることを少しずつ積み重ねてゆけばよい。周囲には可能性がいくらでもある。新しい目で見まわしてみよう。よりよい仕事をするために。(ケースワーカー)

唐獅子

職業的自由

ケリー 正代



カット・玉那覇正吉

いう言葉のひびきは耳に心地よくないが、それを経済的自立に置きかえてみても意味は同じである。経済的自立なしに職業上の自由があり得るであろうか。いかに生きがいを感じている職業であって

終身雇用を建前とする日本では本職への忠誠心を疑われるのがおちであるが、副収入を得ることは本職から手を抜くことではなく、むしろ本職を大切にすることで考えられる。

イカルスタッフや医薬品を運ぶたい目や輝やかせる。立川基地のミス・中佐は退役して弁護士活動に入るにあたり、金のためではなく社会正義の実現のためにのみ専門知識を活用したいと話す。これ

横須賀基地内のコーヒージョップに土曜日の朝どこからともなくアメリカ人の老人たちが集まってきて、一日中コーヒーを飲みながら談笑し、あたかもシニアティンスクラブ(老人クラブ)の観を呈するといふ。集まってくるのは男性のみである。その人たちの典型的ポートレートは、軍を退役、退職し月額五百から千十程度の年金生活者で、日本に骨を埋めるつもりで生活している人である。日本語が少々できて親日家、近所では「お散歩の好きな外人のおじいさん」で通っているに違いない。

唐獅子

レファレンス・グループ
ケリー 正代



カット・砂川喜代

二十歳前後で徴兵され、第二次大戦から朝鮮、ベトナムを経験し、人生の大半を極東地域で過ごした。日本人妻の希望もあり、日本に永住するつもりで生活の根をおろしたのである。故郷はどこか

ませぬね。それに比べて日本にはもう足かけ三十年も住んでいるので、日本がマイホーム(故郷)です。そう言う彼のスマイルに陰があるのは、三十年たってもおろした根はまだ細く浅く、しっか

入国管理局が在留を認めている外国人のためにカウンセラーやサイキアトリックケースワーカー、ひいては特別老人ホームや特別精神病棟が必要になってくるかもしれない。(ケースワーカー)

人でなくてよい場所を確保することが必要になってくる。横須賀近在のアメリカ人にとって週一回心のオーパーホールをする基地はレファレンスグループとしての機能をもっている。

わが沖繩はどこへ行ってもアメリカがあり、レファレンスグループに事欠かない。将来基地が全面返還になった場合、

米軍人と結婚したある沖縄人女性がフィリピンで自殺したとの通知が現地の米軍捜査機関を通じて在沖米軍へ伝達された。米軍通訳官がその女性の実家を訪れ、老母にその事実を伝えた。突然の悲報に老母は驚がくし、通訳官に、なぜこのようになつたのか、間違ひではないのかと必死になつて尋ねた。現地から送られてきた簡単な一片のインフ

ォメーションシート以上のことは通訳官も知る由がなかった。

米軍から納得のゆく情報を得られないので老母は入つてに英語のわかる人をたすねまわり、死んだ娘の夫に問い合わせの手紙を書いてもらった。娘婿(むこ)から返

唐獅子

国際結婚の親

ケリー 正代

事がきた。自殺の原因につき心当たりがないこと、米軍、フィリピン当局、日本大使館も自殺と認定していること、残された子供たちのことほ心配に及ばないことが簡単に記してあった。老母は生活保護費の中から孫が好きなときかさ

の表情にせかされて老母はアメリカ領事館へ足を運んだところ、国際福祉相談所を紹介された。ケースワーカーが軍へ問い合わせたところ、軍としては提供したインフ

ォメーション以上のものはなく、老母が婿へ直接手紙を書くことを勧めた。しかし老母の納得のゆく返事がくることは期待できなかった。ケースワーカーは婿の所属する基地の主任従軍牧師あてに手紙を書き、老母の気持ちを伝え、沖縄における死者の供養の習慣と血のつながりの重要性を説明、老母



カット・大浜佳津子

は老母を訪ね、娘は米本国で婿の家族により手厚い供養を受けている旨牧師から報告があったので安心するように伝えた。

(ケースワーカー)

に新しい生活に入る準備をすすめている。遺骨は米本国の家財道具を預けてある倉庫に送つたとのこと。ケースワーカー

1983年5月27日

アメリカンスクールの学年末は五月末から六月初旬である。それから約三カ月の長い休みに入る。その間は学校以外でも婦人会、同好会等ビジネス以外の活動は休みになる場合が多い。軍人軍属にとっても転勤シーズンドである。

高校までの十二年間に日本では三回卒業式を経験するが、アメリカでは八年生と高校四年生の二回だけである。卒業式は業をなしたという意味の「ラッシュ・エインション」が広く知られているが、それはむしろ日常語で、正式には始まりを意味する「コメント」が使われる。やっと学校生活が終わった、やれやれと喜びと

るか、これからすべてが始まること受けとるかの違いがこの二つの言葉にはある。

高校の卒業式は夜間行われるのが普通である。ついでながらPTA総会等も夜間である。参加する親の都

出席し花束などを贈り祝福する。制服のある学校でも卒業生はカウと角帽を着用する。

今年の卒業生はクラスオブ'83と呼ばれ、ラテン語などからとった同期を表すニックネームをつけ

卒業を前に「プロム」というウォーマルダンスパーティーがあり、一流のホテルなどで行われる。ジュニア(三年生)がジュニアを招待する形で、ジュニアは一年かけてその資金づくりに知恵をしぼる。男子はタートルスーツ、女子はロングドレスに盛装し、車をもっている男子(免許は十六歳から)はコサージュや花束をもってパーティーを迎えに行く。

唐獅子

コメント

ケリー 正代



カット・与那覇朝大

合を学校側のそれより優先し、一人でも多くの親にきてほしいという学校の熱意を表している。卒業式は卒業生が主体であるから、本人が親せき友人を何人でも招待することができる。列席者はドレスアップして

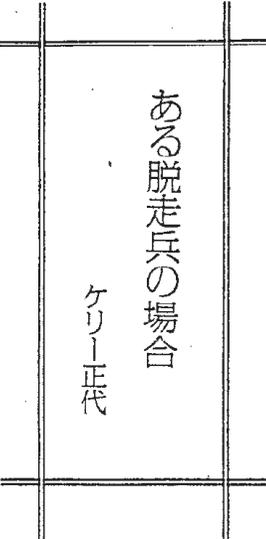
ることも多い。学校名と卒業年度を刻んだスクールリング(卒業指輪)があり、五ドルから百五十ドルくらいまで同じデザインで材質の異なる三種類の中から注文することができる。

ジュニアは学外からパーティーを連れてくる特権を有するが、ジュニアは学内でカップルを組みのを原則としている学校が多い。

(ケースワーカー)

ある老婦がおおすと相談にやっ
てきた。屋敷内の離れに親せきの娘
を住まわせているが、そこへ数カ月
前から外人男性がころがり込んでき
て同居している。男は仕事へ出かけ
る様子もなく、耳と口の不自由な娘
が時々アルバイ

唐獅子



ある脱走兵の場合

ケリー正代

であった。
住んでいる場所が海兵隊基地に
比較的近いことから、早速海兵隊
法務部に電話を入れ脱走兵かもし
れないから調査してほしい旨依頼
した。ところがまず名前等がわから

カーが家庭訪問し、世間話をしなが
ら氏名、家族のこと、出身州等を尋
ねた。二人は結婚するつもりであり
両親がアメリカから受けるのを待つ
ている。海兵隊員であるが年休と病休
をあわせてとっているこの返事であ

る米兵の可能性が強く、そうであ
れば日本側の責任ではないという。事
故でも起こしてくれば対応は簡単
である。本人も海兵隊員であると言
っているのが海兵隊からしかるべき
身元調査をしてほしい、さうでなけ
れば障害者手当
受給者の実態調
査が近く行われ
（実際はそのよ
うなことはない
が）県レベルで
問題にする可能
性があるとの国
際福祉相談所の
執よつな要請でC.I.Dが腰をあげ
た。結局その男は一年にわたる無断
欠勤者として逮捕された。
(ケースワーカー)



……カット・平良 晃……

てできるだけのごとくはしてやりたい
が、外にも出す生活しているこの男
性の様子から犯罪者ではないかと気
がかりである。万一の場合娘のみな
らで自分たちにも迷惑が及ぶのでは
ないかと心配で相談にきたとのこと

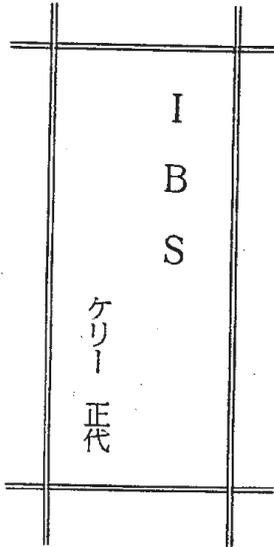
なければ脱走兵かどうか調査する
ことができます。脱走兵でなければ
海兵隊とは関係ないとの返事であ
った。本人に会うより外に方法はな
い。母家の家族を訪ねてきた英語の
わかる友人という設定でケースワー

った。
本人から得た氏名を法務部へ報告
すると脱走兵リストになく、民間地
域の外国人の問題なので入国管理高
の責任であるという。入管へ相談す
ると、状況からして偽名を使ってい

た。結局その男は一年にわたる無断
欠勤者として逮捕された。
(ケースワーカー)

国際結婚した両親の離婚、別居により子供が日本人母親に引き取られ、日本人社会で生活してゆく場合の適応問題などの相談が増加する傾向にある。母子家庭がまず第一に直面するのは経済問題であり、それまで家事育児に専念していた母親が就職するなどの変化が起こる。ここに母子団らんの間であるべき夜間に母親が家にいない状況が発生する現実がある。第二に社会的位置の変化である。父親像の欠落、希薄化と社会生活の範囲、環境、対人関係の変化は子供に不安、孤独、疎外感、人間不信など否定的現実を感じさせ

唐獅子



る。第三に人種、言語、カタカナの氏名、生活習慣など表面にあらわれ、相違がある。これらの子供たちの健全な精神発達を助け、地域社会へのよき適

六歳から十七歳までの青少年。ボランティアは二十歳以上で責任感と良識があり、上司(教官)を含む三人以上の人の推薦を必要とし、書類および面接審査で適性を認められた者

己実現的価値観を体得させ、肯定的自己像の確立と、社会に受け入れられていることも確信させることである。全体グループ活動としてはボランティア、青少年、その母親が参加



...カッ ト・島袋喜代子...

心と調和をばかり、ひいては将来国際社会に役立つ人間に育てゆくことを目標とした新しいボランティア活動IBS(インターナショナル・ボランティア・システム・シスターズ)が発足する。対象は国際児母子家庭の

と な っ て い る。活動は一対一の組む合わせによる定期的友愛活動が中心となる。権威や権力をバックにしない、比較的世代的に近い大人とのふれ合いによる、孤独感をなくし、怒りをやわらげ自

めのワークショップがあり、これらの活動はすべて専門職員のスパービジョンのもとに行われる。IBSのボランティアはケースワーカーの果たせない独自の役割を果たす兄さんや姉さんである(ケースワーカー)

1983年4月1日

数年前、嘉手納基地内で二人の少年が捨て子を発見した。健康な新生児で人種的には両親とも白人と推定された。米軍は必死になって実親が名乗り出ることを関係者の情報提供を呼びかけ、ラジオ・テレビはおよそ二週間毎時間ごの呼びかけを繰り返した。アメリカンコミュニティ・リを包み込んだこの捨て子もわき

は、わきも懐測をうみ、たとえ実親が名乗り出たいと思っていたにしても、出て行き難い状況になってしまった。
親が米軍関係者でなければ、この捨て子は米軍で何ら法的に關係がな

唐獅子

嘉手納モーゼ君
ケリー正代

単に捨てられていた場所が基地内という点にしかならない。車の機能では法的に対応できない。これは日本政府の管轄であるとして、発見者である少年の保護者がコザ警察

モーゼは国籍法に規定する両親の知らない子として当然に日本国籍を取得ることになった。未成年者ひとりにつき戸籍を新しくつくるにあたり、コザ児童相談所の所長が後見人

きいたアメリカ人は一様に「かわいそうに」という感想をもちしたが、日本政府がモーゼを取ってしまっただけではなく、アメリカ人家庭に養子縁組されるための一ステップである



カット・佐久本伸光

と聞かされ安心した。日本国籍を取得するのは大変困難であるがアメリカ国籍は比較的取得しやすい。従ってモーゼが日本籍を持つことは非

常に有利でありラッキーであるという発想はアメリカ人にはない。
モーゼは素晴らしい家庭に養子縁組され渡米した。しかし沖縄市役所にはまだ嘉手納モーゼの戸籍が残っているはずである(ケースワーカー)

置に捨て子発見の届けを出した。周囲のさわぎをよそにこの赤ちゃんは一里親である軍人家庭で「モーゼ」と呼ばれ養育されていた。
一定期間親が名乗り出す、また捜す手がかりも得られないことから、

に選ばれた。戸籍は氏が必要である。国際福祉相談所では発見された場所になんか嘉手納をモーゼに贈った。ここに日本人「嘉手納モーゼ」が誕生した。
モーゼの日本籍取得のニュースを

1983年3月18日

国籍法改正 聴聞会

沖縄の厳しい実情説明

ケリー・正代さん 中間試案に問題提起

【関西】法務省は十四、十五の両日、大阪・東区の大坂法務局会議室で「国籍法改正に関する中間試案」について聴聞会を開いた。十五日午前九時半から同聴聞会には、沖縄から国際福祉相談所の島本孝子所長と同所ケースワーカー、ケリー・正代さんが招かれて出席、四半世紀にわたる異民族統治の下で発生した沖縄の無国籍児問題を背景に意見を述べた。東京で開く二十五日の聴聞会には、沖縄連の富里悦子会長、井藤工・金成清三さんが同じく沖縄を代表して意見を述べる。

この日の聴聞会では、県井藤工会長推薦のケリー・正代さんのほか、井田健太郎神戸大教授(国際法)、野村ゆかりさん(大阪弁護士)、石田法子さんら六人が出席。それぞれ国籍法改正試案をめぐる評価や疑問点について、同席した法制審議会、国籍法部委員や幹事及び法務省当局に対し率直な意見を述べた。

全国でも無国籍児を最も多く抱え複雑な問題が多い沖縄を代表したケリー・正代さんは「沖縄には未就籍三、婚姻外十七、純粋八の計二十八件の無国籍件数がある」と述べ、中間試案についての重国籍解消を重んずるあまりの国際結婚したものを調査

するなど人権にかかわる行き過ぎた行為があってはならない②重国籍者は本人が報告しない限りわからない場合が多い。第三者からの通報などによる職権調査は好ましくない④外国の日本人身分の変更すなわち結婚、離婚、出生、死亡、帰化などについては各留国に通告し合う協定は結ばないか⑤日米地位協定によって長期滞日している軍属などで日本人と結婚し、その妻

のみが住民登録している場合が多いが、これらの籍日外人を居住者とみなすかどうか一など出生や帰化による国籍取得、帰化の取り消し、重国籍の解消などを規定した中間試案への問題提起を行った。

非公開の同聴聞会の後、ケリー・正代さんは「法改正で父母両系主義が採用されるのは評価されるが、内容的には沖縄の実情にそぐわない疑問点もある。会議は意見の陳述だけで提起した問題討議もなくもの足りなかった」との印象を述べた。

1983年3月16日(夕刊)

沖縄から3人出席、陳述

問題点など指摘

大阪 東京 国籍法改正試案で聴聞会

国籍法改正に向けて中間案が今年二月に生まれ、従来の父系血統優先主義から、父母両系主義に改められることになった。法務省は、改正に向けて一般の意見を聞くが十五日・大阪、二十五日・東京で聴聞会を開く。沖縄からは十五日・大阪での聴聞会に国際福祉事務所の島本幸子所長、ケイスワーカー・ケリー・正代さん、二十五日・東京の聴聞会には里見純子連合会長が出席する。



宮里さん



ケリーさん



島本さん

全国でも無国籍児を最も多く抱え、複雑な問題が多い沖縄を代表して、実情を紹介しながら中間試案の問題点を指摘する。

ケリー・正代さんは「母が日本人である時も日本国籍が認められるというのは一つの大きな前進ではあるが、中間試案には問題点も多い。一つは対象が未成年者に限ること。沖縄には既に成人に達した無国籍の人も多い。当事務所で扱ったケースにも二人が成人に達している。また、日本に再帰化した女性の子

供には適用されない。つまり、女性の子供についても国籍の取得が可能な場合もあるよう要諦する」と話している。た例が沖縄には多い。そういう

1983年3月8日

昨年九月カテナ空軍基地内に在沖米四軍共同のシェルターが設置された。このシェルターは防空壕としてはなく、夫の暴力から逃れる妻のためのいわばかけ込み寺である。専門の家族問題カウンセラーを配備して二十四時間体制をとるシェ

ルターは、助けを求める電話が入ると適当な場所ですぐ人と落ち合い連れてくるのである。

シェルターには七十二時間滞在することができ、その間カウンセリングを受けながら他の専門機関に引き継がれてゆく。妻がシェルターを訪れると同時に夫もカウンセラーとの話し合いに促される。

唐獅子

シェルター

ケリー 正代

昇化されている。

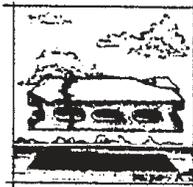
シェルターは外観も内部も普通の家で、本人たちが自由に食事をとれるよう冷蔵庫や棚に各団体・個人から寄付された食料品が並んでいる。各寝室にはベッドの代わりに日

九月から十二月までの四カ月の美續はかけ込んできた妻四十人その子供たち五十人の計九十人でシェルター設備のニードが突証された。子供たちはシェルターから学校に通うことが出来るようタクシー代などが予

本式の三折りマットレスが置いてあり、くつろぎやすい雰囲気である。近年欧米ではスパウスマニエーズ(配偶者虐待)が大きな関心事となつている。虐待されても抵抗したり逃げ出すと見つかつて連れ戻さ

もい、虐待され続ける妻は夫を心から愛しているという意外な側面がある。

夫は今仕事の上でも交友関係でも不遇であり、酒におぼれ暴力をふるうのも仕方がない。そのうち夫も必ず目をさまして



カット・川平恵造

れた時以前より虐待がひどくなったところの恐怖感、とてな夫であつてもそれに頼らなければいけません。きでいけない、ひとりで子供を育てていけないという不安、家庭内の恥を外に出したくない気持ちなど

このアメリカンスのバターンは洋の東西で全く変わりが無い。違つのは問題をどう見る視点と対応の賢さである。

(ケースワーカー)

あるアメリカ夫婦のはなし。夫は軍曹、妻は専門職をもつ公務員、ともに二十七歳。妻は夫の誕生日に毎年特別なプレゼントをしている。昨年のプレゼントは最新設備のモデルでの宿泊であつた。どのモデル

唐獅子

が一番設備がよいかと妻から相談を持ちかけられた沖繩側友人は、最初真意をはかりかねて当惑した。妻の気持ちをよくみとり

協力することになったがたれもモデルに関するインフォメーションを持ち合わせず、結局、電話で問い合わせて予約をとってやった。その妻の今年のプレゼントはいわゆるベリー(ハセ)ダンサーとよば

れるアラビヤダンスの踊り子に伴つてコピーブレイクの時間に夫の職場を訪ねることであった。この時期せぬ訪問者も夫はもとより、同僚も上司も大歓迎しバースデーケーキ

アメリカ人氣質

ケリー 正代

を食べながら、ベリーダンスを鑑賞し大変好評であったという。ちなみにベリーダンサーの雇い賃は三十分で三千円であった。ベリーダンスは美容体操としてアメリカ人の間で人気がある。

ある慈善団体のチャリティーパーティーでもベリーダンサーが上手に使われていた。余興でベリーダンスがあり、終わるとダンサーが客席をまわり腰をくねらせて踊り

員の余興にもなり、またたく間に踊り子たちの細い衣装が紙幣のフリルで隠れてしまった。短い時間で、同額の資金をつくるためにわれわれがどのよ



……カット・赤穂 正則……

ながらハンデ、キャップをもつ子供たちのための寄付を呼びかける。寄付の方法はダンサーの胸と腰のまわりにある細いひもに紙幣を広げてはさみ込むのである。これはなかなか技術を要し、相の手が入ったりで会

でも義務としてではなく、楽しくやることのできる。フレッシュな発想で新しい年をスタートしたい。(ケースワーカー)

1983年1月7日

忘年会とクリスマスパーティー、正月とクリスマスは似てゐるものの代表格である。酔って乱れて今年のは残屑が合わなくてこれで破算にし、新しい年には新しい破算で一年から計算をはじめると日本流はじめを大切にす

唐獅子

忘年会
ケリー 正代



カット・佐久本伸光

安定に不可欠である。その意味では忘年会なしに正月を迎えるわけにはいかない。忘年会のかけ持ち回数はその人の世間的重要度と人気度をはかるバロメーターであり、所属集団内での地位保全のために重要な機会

う好意的評価をかちとる絶好の機会である。忘年会のはじめは偉い人のあいさつで、皆さんのおかげで会社の業績もあがり地域社会発展の一翼を担ったなど言われると、机の番は机の番

じめとしてのセレモニーは、温情主義社会になくはならないものであり、どこかで落ちこぼれても次のセレモニーでは復活可能である。暴走族も過激派学生もその点はよく心得ているに違いない。

を順序よく通過することによってつけられるものである。一年を終るためのセレモニーが忘年会である。はじめには世間の同意と承認が必要であり、つまり世間の期待にこたえることであるから、本人の精神的

である。形式平等をたてまんとする日本では酒の席では特に無礼講であるから、職場での貢献度の低い人でもカラオケや余興で美力を発揮する場が与えられ、仕事は大したことないけれどもなかなか面白いやうなとい

なりに幽霊の重要な一部なのだ。心地よい酔いと共に望ましい自己像と現実の自己像がオーバーラップしてきて、来年も頑張ろうといふことになる。会社が会費をもったてても安いものである。日本における

人式、結婚式などのセレモニーを通じて普通の大人になっていくのである。(ケースワーカー)

欧米型競争社会では一度落ちこぼれると実力ではい上がる以外に方法はない。努力なしに敗者復活戦への出場資格が得られる日本では非行少年も一過期で、成

1982年12月24日

近年最新設備を整えた病院が次々に開設されておられる医療機関が飛躍的に向上してきています。それらの新しい病院が必ずしもすべてがハイグレードの「カー」者、相違なく高収入の層の目ざしである。ところが、ほかにと、看護士が50歳以上で本来の目的を失われてしまっている。物置として、はスタッフの休憩室にならしている場合も少なくない。

唐獅子

うかがって設備投資金を回収したという「カー」を配属して来たという約束手形も出ています。

「チームワーク」
ケリー正代



ン・書道に多数受け入れ、院内でたえ、大学・大学院レベルの講演・講義が行われ、その専門分野に限定されず参加は自由である。

「ケースワーカー」

ワークが必要なのは明らかである。アメリカの総合病院での一年間の調査を委託した。その総合病院は治療機能と同様に教育機関としての役割を担っている。年間を通じてインター

イルドアドバイザーである。生活保護の受給者を受け付けざるを得ず、カルテがソーシャルワーク部でまわっている。未婚の母も同様で、医者の診断の前にソーシャルワークが面接す

入院が善いなら、再度ソーシャルワーカー室に戻り、入院中の家族の生活につき対策がたえられる。福祉事務所と連携してホームヘルパーの派遣を依頼する等、実際の援助と同様に話し合いにより不安を和らげるためである。未婚の母が学生の場合はソーシャルワーカーと連携をとり、家族との話し合いをすすめてゆく。ひとりの患者

るソーシャルワーカーの判断を、診療室まで同行し、医師やインテックの報告を診療室に戻すことも自由である。そこには看護婦や学生もマンツーマン生きている。医師は診察にのみならず、患者生をわがものとして診察する。

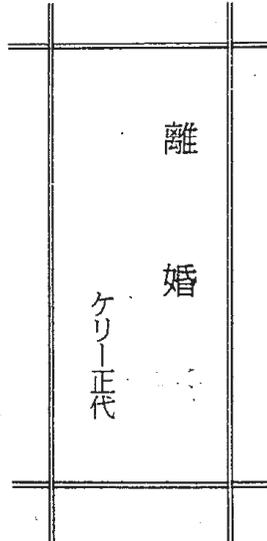
光・伸・本・久・佐・伸・光
を和らげるためである。未婚の母が学生の場合はソーシャルワーカーと連携をとり、家族との話し合いをすすめてゆく。ひとりの患者

結婚に離婚があるように養子縁組にも離婚があって当然であろうか。事情があって子供を育てるものでない親が子供の幸福を願って他の人に親がわりを依頼し、法的に親子関係をつくるのが養子縁組である。

実親はその時点で親としての権利を養親に移譲し、親も子も新しい道を別々に歩きはじめる。実親は悲しみを乗り越えて新たな人生を築いてゆく。養親で養子は新しい親子関係を確かなものにするための努力がゆめゆめ必要で、離婚となることもあろうか。

欧米には養子縁組離婚という考え方が存在しないという。法

唐獅子



離婚

ケリー正代

的につくられた親子関係を養親や実親の都合によって解消したり、元に戻すことはできない。実親はまず親権者を辞退し、親権を児童福祉機関の長に譲る旨の文書を作成し公証

子供を一切見ることがないのが普通である。

一方養親予定者に対しては実親およびその家族の身体的特徴、病歴などをくわしく知らされる。人種につ

種が特定できないが、将来たとえ不明しない人種の特徴がでてもそれに対応し得る能力のあるものが養親として選ばれる。



カッター・砂川喜代

た養親ではあるが、万一養子縁組完了後に離婚、死別その他子供を養育できない事情が生じた場合には、養子縁組離婚ではなく再養子縁組ということになる。

まはる。実親の出番はそれまで、その後の手続きはすべて児童福祉機関と養親予定者の間で行われる。実親は養親がたれであるかもわからず会うこともない。妊娠中に養子縁組に出すことを決意した親は、出産後

いはは祖父の一人がメキシコ系であれば四分の一メキシコ系、曾祖父母の場合八分の一と表される。原則として養子と養親の人種が同じか近いのが望ましいとされるので、暴行

つまずの養親は実親と同じ権利義務があるので、実親がしたと同様に子供福祉を最優先させて考え、養子縁組をいつかになり、離婚して実親に返す。この方が不合理である。(ケースワーカー)

1982年11月12日

多額の財産を守るための養親の利益を中心に考えられてきたわが国の養子縁組が、「養子となる者の福祉」を主眼とするへ法制審議会で見直しが行われているという。児童福祉の観点から全く画期的なことである。

欧米では養子縁組は児童福祉の方法としてのみ考えられており、ハンディキャップをもつ子供たちの養子縁組も年々増加してきている。

恵まれない子供のために、温かい家庭を提供したいというのが養子縁組の動機であり、中にはこれ以上地球上の人口を増やすべきでないとの信念から養子をつくらず、養子縁組を希望する夫婦もいる。妻がなくても養子であっても

唐獅子

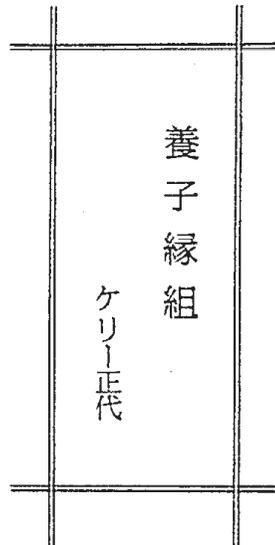
養子縁組

ケリー正代

も十八歳まで育てれば対等の大人として独立してゆく欧米では、育ててやめているのではなく、子育てのよる喜びを味わわせてもっていると考ええる。養子は物ごとくついでにからあなたには生まれてこの家に来た。

の児童福祉・養子縁組機関へ申し込まねばならないが、結婚生活三年以上であること、高校以上の学歴、ある程度の蓄えと資産が基本条件となる。その上で健康診断書、職場の上司、牧師、友人からの推せん書を提

不安や偏見への対処法、異文化についてのお考えなどが詳細に調査される。その結果、養親適格者と認定されると名簿に登録され待機する。子供が養子縁組予定院として措置された後も法的に六カ月の適応期間があり、その間ワーカーの訪問指導を受ける。期間後適応が順調であると認められてはじめて裁判所に養子縁組の申し立てをする



カット・永山信春

あなたを迎えるのにパパもママも一生懸命努力をし、長い間待った。だからあなたはこの家でとても大切な人となり返して言いかせ、養子縁組の失いイメージをうつさす。

出する。養子縁組家庭調査は専門のアダプションワーカーによって二カ月以上かけて行われる。個別面接による成育歴調査はじまり、友人や隣人との面接、在学児童がいれば教師との面接を通して育児、教育観、

ことができる。国際福祉相談所は児童福祉機関として外国にも認められ、その家庭調査は高く評価されている。

(ケースワーカー)

「日本人と結婚した外国人が日本国籍を取得しないと同様、日本人も外国人との結婚によって外国籍を取得しない。つまり結婚する相手によって国籍が変わることはない。外国人との婚姻の事実が戸籍に記載されるが、相手方に戸籍がないので、夫婦につき新戸籍が編成されず、従前通り親の戸籍にそのまま記されることになる。同じ戸籍にある者は同じ姓を累するので、外国人と結婚しても姓名は結婚前と変わらない。」

戸籍があるということは日本人の証拠であり、法律上も山田花子がミス化してはならない。日本人としてパスポートは山田花子で発給されるが、それでは外国へ行った時社会生活上困るので、結婚証明書を提示してハナコスミスという別名をカッコつきでつけ加えてもらうことができる。夫の国では国籍に関係なくハナコスミスが法律上も正

唐獅子

結婚と国籍
ケリー 正代

るが、それでは外国へ行った時生活上困るので、結婚証明書を提示してハナコスミスという別名をカッコつきでつけ加えてもらうことができる。夫の国では国籍に関係なくハナコスミスが法律上も正

は日本人として父親の戸籍に嫡出子として入る。これが問題になっている男女不平等の国籍法である、法律の改正には時間がかかるが、改正の方向で準備が進められているはずである。われ

社会的に差別されてはならないはずである。「生活習慣や考え方の異なる人」と結婚したことが職業上の不利の理由になるのであれば、「日本人の間では生活習慣や考え方が異なるってはない」という画一的考えの持ち主であることを自ら認めることである、それはひいては「異なるものは排除しよう」という危険な考えにつながるからいいとは言えない。人事任免権を持つ

式である。日本人女性が外国人と婚姻後子供が生まると、子供は父親の国籍を取得する。つまり母の戸籍には入らない。日本人男性が外国人と婚姻すると妻は夫の戸籍に入らないが、子供

わがが一市民として国籍法の改正に奇与できる方法は、自らの中にしっかりとした人権意識と平等意識をうえつけることである。結婚は最もプライベートな行為であり、結婚する相手によって法律的

者は正しい人権意識とシャープな時代感覚で客観的に何が好ましいかを考え、バランスのとれた総合的判断を示してほしい。(ケースワーカー)



カット・大浜佳津子

人事任免権を持つ者は正しい人権意識とシャープな時代感覚で客観的に何が好ましいかを考え、バランスのとれた総合的判断を示してほしい。

親の反対を押し切って国際結婚し、家出同然に沖縄を出て行った娘たちが数多くいる。親もせうかく人並みに育て学校も出したのに、日本人でさえあればどこの馬の骨でもかまわないのに、いふにやうにアメリカ人と結婚するといふと

唐獅子

ケリー 正代



カット・佐久本伸光

とが親に迷惑をかきながらいふやうに思っている。その通りである。父親は世間体から娘のいふ一切口にしてない。母親はやはり気がないので娘の友人たちに手紙でも書いてないかと電話の問い合わせ、責めな

「入さがし」
ケリー 正代

娘の友人たちも遠くへ行ってしまっている。風のたよめが人知れぬまま。親も年をとり向もしてやうていない娘のことが気がなげている。このよきな親が遠慮がちに国際福祉相談所へやうていふ。まず手がか

らゆる機関、個人へ手紙を書く。十件に一件は成功する可能性がある。驚異的成功率であるといふ。(ケースワーカー)

い土地でがんばっているようなところを知らず安んずる。時々風のたよめで引越したらしい、子供が生まれたなどのニュースを知り、アメリカ人の顔をした孫に内心とまごいを覚えたりする。やがて年月が過ぎ、

りを集める作業からほじめる。娘の友人から得られるのが十年前の住所だったりする。手紙を出してみると受取人不明で戻ってくる。婿姻届出の書類が法務局の戸籍課に保存されているので、その写しをとり

場合も住民登録がないので、それ以上たよめることはできない。国防倉に問い合わせるにも社会保障番号がわからなければ不可能である。それでも方に一つの可能性のための社会福祉事務所、保険事務所、

保安官事務所、在郷軍人会赤十字、子供がいると思われる場合は教育委員会、死亡届の出される人口統計局、当時の友人など手がかりの少しでもあるあ

沖繩には、いわゆるインターナショナルスクールといわれる学校が四校ある。いずれも教会関係の学校でカトリック系のクライスト・ザ・キング・スクール(宮野湾市真栄原在)、バプテスト系のオキナワ・クリスチャン・スクール(徳添市港川在)とマラナサ・バプテスト・アカデミー(宮野湾市大山在)、隣人教会のネイバーフッド・スクール(北中城村屋官原在)である。

これらは日本の学校教育法に定める学校ではなく、洋裁学校など同様各種学校のひとつなので、日本では卒業資格がストレートに認められない。つまりこれらの学校の高校を

唐獅子

インターナショナル スクール

ケリー 正代

卒業しても「高卒」という資格はなく、従って日本では大学などの受験資格がない。沖繩国際大学が地域社会の実情に即応し、これらの学校の卒業生を受け入れていることば、地域に開かれた大学として特筆される

べきである。なぜならこれらのインターナショナル・スクールには多くの日本籍の生徒が在学しているからである。

これらの学校の学費は月平均二万五千円前後で、九月新学期から五月

学年末までの九月月間払えばよい。つまり夏休み三カ月間は教師は給料なしである。教師は九月から五月まで学校と契約を結び、毎年学年末に契約を更新するのである。夏休み中に出校日などをもちけて不労所得を

正代化する必要はなく、三カ月間はプライベートタイムである。旅行や自由研究に打ち込む者もいれば、特技をいかして夜クラブで歌ってせっせと稼いでいる者もある。夏の間は教師ではないのだから、何をしても



カット・永津慎三

は、楽しいはずの夏休みも暑くて長い危険な三カ月で

と自由である。日本のように二巨教師になれば一日二十四時間の三千年間、寝ている間も教師であるのとは大きな違いである。

学年末の判定で進級が認められない子供たちのための補習、サマースクールが一月間

(ケースワーカー)

アメリカには法的別居(リーガルセパレーション)という制度がある。離婚を前提とした正式別居のこと。別居に先立ち弁護士事務所もしくは軍法務官事務所で別居同意書(セパレーション・アグリーメント)を作成する。後日裁判離婚の際この同意書が判決の一部として取り入れられることが多いので、慎重を期さねばならない。外国では協議離婚はほとんど認められていないので、外国人との離婚は日本国内であっても、家庭裁判所もしくは地方裁判所に申し立てなければならない。

以下標準的別居同意書について述べる。まず別居に踏み切った後はまた同居生活に戻ったり、性交渉を求めたならないとなっており、離婚を前提とした別居ということが明確である。アメリカは州によって法律

者の親権者・養育料などが主たる内容である。親権者を母と定めると父は子が十八歳に達するか結婚するか、軍人になるか、死するまで毎月養育費を支払うことに同意する。軍人

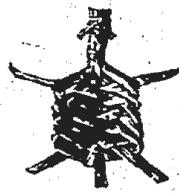
らない。父が子を連れ出しても五十五以上離れたところに行ってはならないなど細かい取り決めがなされる。同意書を作る段階ではどの親もできるだけ有利な条件にしてもらうと口角争いが、いったん署名してしまつたのど元過ぎた熱さと同じである。一年以内に養育料の支払いが遅れがちななり、やがて止まり、あれほど主張した訪問権も自然消滅、そのうち音信不通から軍を除隊し行方不明になるケースを数多く見てきた。

(ケースワーカー)

唐獅子

別居同意書

ケリー 正代



...カット・翁長自修

同意書を作る段階ではどの親もできるだけ有利な条件にしてもらうと口角争いが、いったん署名してしまつたのど元過ぎた熱さと同じである。一年以内に養育料の支払いが遅れがちななり、やがて止まり、あれほど主張した訪問権も自然消滅、そのうち音信不通から軍を除隊し行方不明になるケースを数多く見てきた。

1982年9月17日

「この娘がアメリカに妊娠させられたのです」と血相かえてかけ込んで来る親がいる。強姦されたわけではない。双方の合意に基づいた行為の結果としての妊娠である。中絶、出産費用等を相手方が負担しないと

なると、米軍や米領事館は財源の大半を地域社会からの寄付に依存している国際福祉相談所が出すべきだと要求する親もある。相手方がアメリカ人である限り、妊娠したのではなくさせられたのであり、相手方は私人ではなく米軍基地の一部の考え方である。戦後長きにわたって培われてきたこのような県民の風習パターンから

唐獅子

国際妊娠
ケリー正代



カット・島袋喜代子

すると、これはまさに「国際妊娠」といふことになる。国際的な問題は公の機関が取り組むのは当然であり、その分個人の責任は軽減されるからまことに都合がよいが、現在国

たものは枚挙にいとまがない。講談社大字典によれば国際とは「国家と国家との交際」であり、国際会議、国際私法等が列挙されており私的な意味はない。私的領域にまで国際を

国際結婚があれば国際恋愛、国際未婚の母、国際児、国際母子家庭、国際寡婦も論理的にはわかしくない。このようにして国際という言葉の便利さ手軽さが増えます県民を「国際的」にしてゆく。国際児が成長して国際人になるかどうかはフライング問題である。

や県にその窓口がない。県民のプライベートライフにかかわる「国際問題」はここに相談に行はばよいのか。わいわい県民は国際という言葉が好きである。国際大通りにはじまり風俗営業に至るまで国際を名のついで

導入したのは戦後を生きのびた県民の生活の知恵、精神衛生法かもしれない。国際センターやコンパニオンホールの具体化にともない、県民の真の国際性が問われる時期になっている。

し、国際妊娠を経て国際児を出産養育しつつ将来起り得る国際別居、国際離婚に対応しなければならぬとしたら、とても個人的努力では対応できないとの理屈が成立する。(ケースワーカー)

在沖米海兵隊ファミリーサービスセンターの主催で毎月一回結婚準備講座があり、下士官以下の軍人は司令官から結婚許可を得る条件としてその出席が義務づけられている。従軍牧師、法務官が

講師となって結婚への心がまえや法律上の問題を話し合った後、国際結婚とアメリカ人同士のカップルにわかれてカウンスラーを中心にディ

スカッションが行われる。毎月二十組以上が出席するが、過去数年間で出席者の顔ぶれに著しい変化がみられる。三年前までは九割までが国際結婚組で、女性の職業も風俗営業従事者が圧倒的であった。

唐獅子

結婚あれこれ
ケリー 正代

ほとんどが実質的内縁関係にあり妊娠中の女性が多かったため、子供ができてという理由で結婚を急ぐのは危険であることを繰り返し語らねばならなかった。現在は国際結婚組は

のは女性兵士が増えたため、男女平等、機会均等の立場から、同僚の至りであるが、同時に軍隊は新しい問題への対応を迫られることになった。そのひとつは未婚の母の問題で

支障がなければ軍はプライベートライフに関知しないし、上司の倫理観や価値観を押しつけることもない。軍の対応策はファミリーサービスセンターの充実である。それに伴ってカウンスラーやケ

三割程度で、女性の職業としてはタイピスト、看護婦、美容師などわれわれの周囲の結婚と交わるもの。国際結婚が特殊な人のする特殊な結婚ではなくなってきた。軍人同士の結婚が多くなっている

ある。妊娠したからといってやめさせられたり、不利益をこうむることはない。養子縁組に出る場合もあれば子育てと軍務を両立させている未婚の母兵士もいる。離婚にともなう軍人父子家庭も意外に多い。職務遂行に

い。妻はケースワーカー、スーパーバイザーで少佐、夫は軍曹というカップルを知っているが、われわれ日本人が心配するよむなことは全くの取り越し苦労である。(ケースワーカー)



カット・城間善宏

は妻が将校で夫が下士官という軍人夫婦も珍しくな

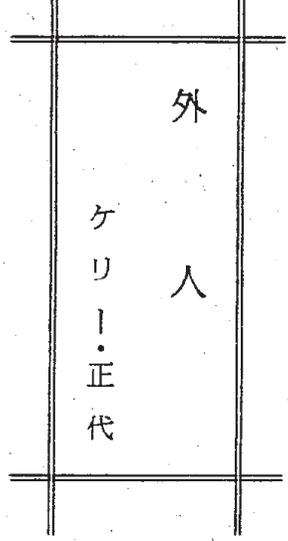
1982年8月20日

われわれが何の気なしに使っている「外人」という言い方を当の外国人たちは好まない。外人のつまりアウトサイダー、日本人以外の人という言い方に露骨にあらわれている差別、排他性への反発に他ならない。

外国人が二十年日本に住み、日本語を話し、冠婚葬祭の心得も一応あり、全く地域社会に密着した生活をおくっていても、外人は十把一からげに外人ではない。

アメリカではあの人の奥さんとは日本人だとは言っても、あの人の奥さんは「外人」とは決して言わない。人種的特徴もしくは国籍を明らかにする意味で使われる何々人という言葉

唐獅子



い方は、自国人対外人という図式からでたものではなく、従って排他的ニュアンスはない。

アメリカ人が日本では永遠に外人であり、社会生活上のアウトサイダーとしてしか遇されぬのに反

ある。

しかし日本人妻が必ずしもアメリカ人になりたいと思っているわけではないからそこに摩擦が生ずる。自分か少しずつ日本人らしさを失ってゆくことへの不安と、夫の期待に応

場、日本人クラブ等へ連れてゆくことである。自分が自然に日本人でいて違和感のない場所、安心して日本人でいられる場所をまよみつけておかなければならないし、周囲に受ければ夫は日本人留学生などを家に招待するなどのことを積極的にしてお



良平・カット

し、日本人妻はアメリカではすぐアメリカ人になることを期待される。世界を自由に手さする人種がアメリカといつるつぼにどんでんで、ま

えられない焦燥感、外国語を使って生活しなければならぬ疲労感が重なるって正帯に精神の機能をむしろ

いられる。外人と呼んでアウトサイダーのままで置いておくのは、無意識の親切であるかもしれない。

(ケースワーカー)

1982年8月6日

現に日本に住んでいるアメリカ人夫と日本人妻の離婚がメキシコの裁判所で決定される。

妻がその事実を知るのは、ある日突然夫からスペイン語原文に公証済英訳のついた離婚判決書を手渡された時である。しかし、妻は離婚の書類にサインをした覚えはないので、この判決は無効に違いないと確信し、あちこちから聞きあてているうちに、夫は他の日本人女性とさまたち再婚したりする。

この場合この夫は同時に二人の日本人女性と有効な婚姻をしていることになる。法律上の問題はなないのであるが。

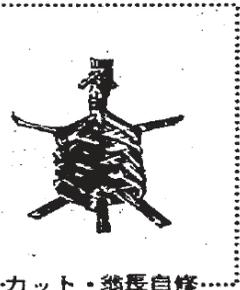
唐獅子

メールオー
ダー離婚
ケリー 正代

このようなことが現実になれわれの身近で起きているのである。それも一件や二件ではない。そんなほかなどとはあり得ないと妻から相談を受けた人々は言う。われわれもそう思う。しかしどうしようもない。最終的には妻が高い料金を払って判決書を翻訳してもらい、それを本籍地の役所に届け出、妻の戸籍に離婚の事実が記載される。それも夫から渡された判決書がメキシコ裁判所の発行した謄本でなければ

は言難きは受け付けない。謄本でなく単なるコピーの場合も全く踏ん切りがたつのである。

判決にあるように妻が離婚に同意したり、メキシコ人の弁護士を代理人として依頼した覚えもないので、



カット・翁長自修

を問う訴えを提起することができないかもしれない。これも現地の弁護士が必要である。日本の裁判所に訴える方法はないものだろうか。妻は弁護士に相談に行っているが、妻を援助する具体的な方法がとられたという話はまだきいたことがない。

アメリカ人が日本人妻と離婚し再婚する場合、前婚が法的に解消していることをチェックする意味で、法務局もしくはアメリカ領事館が離婚の記載された前妻の戸籍抄本の提出を義務づけることはできないものであるが。

(ケースワーカー)

国際結婚の英訳はインタナショナル・マリッジと想っている人が多い。たゞそれはラファット議長が米の仲介によるベキン首相の息子と結婚するケースの場合には、国際的な結婚(Inter-national marriage)とインタナショナル・マリッジと書くことができるかもしれない。

われわれが身近に見る国際結婚は、あまり国際的ではないが、今のところ日本語としては他に適語はみつからない。英語ではインタカルチュラル(文化の相互的にかわり合い)、クロスカルチュラル(文化のまじり合い)、もしくはトランスカルチュラル(異文化を通り抜けてゆへにマリッジと訳するのが実情に近い)。

一年前韓国のアナ・スクー(花嫁学校)の主権者が来沖し、

国際結婚講座

ケリー・まさよ

国際結婚講座

関係者を集めて説明会が行われた。韓国のプログラムはその名の通り、米軍人と結婚する韓国女性をアメリカの生活に適応させるための準備講座であり、毎月十組以上の国際結婚のある韓国で大変好評を博しているところであった。出席者の中から

委員が選ばれ、その後数カ月にわたってアライド・スクールの必要性と可能性が熱心に話し合われることになった。

推進役は従軍牧師マダスキー中佐で、現在「沖縄における国際結婚」のテーマで博士論文執筆中の人物で

ある。折しも国防省関係予算が軒なみ縮小される中において、ファミリーサービス関係は大幅な伸びを示し、ケースワーカー等専門職が多数配置された。国際結婚から派生する問題があまりにも多く、軍としても、家庭の問題に無関心ではいられなく

なったのである。

インタカルチュラル・カップル・ス・ワークショップ(国際結婚講座)は花嫁学校は全く想定を変えて、カップルで参加し文化・言語・生活習慣の相違を認識し、それを乗り越えてゆく方法を専門家や経験者と共

に考えてゆくこと、すなわちカルチュラル・センシティブティ(異文化への理解と思いやり)を培うことを目的としている。第一回講座は去る三月から六週間にわたって開催され成果をあげた。

ケリー・まさよ
一九三九(昭和十四)年生まれ、那覇市出身。那覇高校から早稲田大学文学部英文学専修卒業、ニューヨーク州立バップファロー大学修士課程社会学専攻専攻一年修了。U.S.Oプログラムエイド、米民政府広報局新聞課勤務をへて六七年度国際社会事業団沖縄代表部(現国際福祉沖縄事務所の前身)へ。ケースワーカーとして十六年。



カット・赤嶺 正則



ケリー・まさよ

名作にみる女性像

ケリー正代

「名作」にみる女性像... 女性像の多様性... 社会の反映...

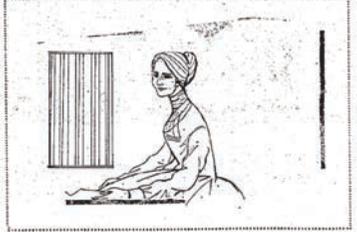
主体性持たず流される

帝政ロシア貴族社会の崩壊の中で



ケリー正代さん... 帝政ロシアの貴族社会... 崩壊の過程...

「花の園」のホーフ夫人



「花の園」のホーフ夫人... ラネーフスカヤ夫人の場合... 彼女の生活と創作...

1967年1月14日

フォーラム： バッファローで出会ったアメリカ人達

アメリカのほとんどの地域に比べ、ニューヨーク州北部のバッファローの冬は、より早く訪れ、長く続きます。1965年から1966年にかけての昨年の冬、10月末に初雪が降り、感謝祭の前と最中に激しい吹雪に見舞われ、その後バッファローは4月まで白く覆われました。

日増しに大きくなる窓越しの氷柱を見ながら、インド出身のルームメイトであるRajとは、南インドや沖縄の夏がいかに晴れやかで色鮮やかかを語り合いました。Rajと私は、バッファローに到着した日に留学生オフィスで会い、一緒にアパートを借りることにしました。

バッファロー大学で二つ目の生物学の修士号を取得するため、Rajは今もバッファローに居ます。フルブライト奨学金で米国に来る前、彼女はインドの大学で既に修士号を取得し、ハイデラバードの女子大学で7年間教員をしていました。しかし、米国では米国内の大学で修士号を取得しないと博士号は認められません。

若い魅力的な美術教師のナンシーが私たちの家主でした。彼女は寝室が3つある一軒家の2階を借りていました。彼女は大学の上級心理学の学生だった元夫とよりを戻し、付き合っていました。2年間結婚していましたが、私たちは1年前に離婚しました。

彼が春に卒業後、再婚する予定でした。ナンシー曰く離婚の理由は彼女が学生の夫をサポートし、それが彼らの間で精神的な格差を引き起こしたことです。再度過ちを繰り返さないよう、同じ男性との幸せな再婚の準備をしていました。

ナンシーは、週2晩、集団精神療法に通っていました。彼女はセラピストに年間約2000ドルを支払い、幸せになると確信していました。それで将来の幸せを買っているようなものだ。

ナンシーと彼が同居するため、Rajと私は家を出なければなりません。しかし、その直前に彼らの再婚約は破棄。ナンシーには聞けず、理由はわかりません。ナンシーも私たちと同じ日に引っ越しました。彼女は過去を忘れるため、私たちに多くのものを譲ってくれました。再婚し幸せ溢れるはずだった家を真冬、ペットの猿を連れて出ていきました。

ナンシーについて言及すべきもう一つの話は、彼女が夜、自分の部屋で鏡越しに裸の自画像を描いたことです。絵を完成させるのに約10日かかりました。彼女は私たち3人が共有するリビングルームに絵を飾りました。ナンシーを知っている人なら誰でも、彼女が絵のモデルであることがわかります。これを機にRajは友達との日曜日のお茶会を取り止めました。

不愛想な大型犬と1階に住んでいた老夫婦が家の所有者でした。100年以上ずっとこの場所で毎日変わらない日々を過ごしているように見えました。彼は97歳。妻は病気で抜け殻のように見えました。外出は一切せず、訪れる方も減多にいませんでした。

彼らは窓から世界を見ました。家に近づいた者は吠えられ、窓から凝視されました。一方で私たちには親切にしようと、家に招かれました。リビングルームには制服を着た、若くて見栄えの良い男性の大きな写真が飾られていました。尋ねると、妻の元夫で商船の役職者だったと。何故誇らしげに写真を飾っていたかが理解できませんでした。

「東京はバッファローと同じくらい大きいのですか？」とおじいさんに繰り返し聞かれました。バッファローの人口は広い郊外を除いても58,000人ぐらいですが、私は毎回「はい」と答えるだけでした。

老夫婦と一緒に住んでいる数学の教授がいました。彼はルーマニア人で10年前アメリカに帰化したそう。彼は毎朝夫婦と朝食を取り、天候に関係なく毎晩6時には夕食に出かけました。道で見かけても、近くのホットドッグ店でコーヒーを飲むときも、いつも一人ででした。手紙も来ないし、時間を共にする友達もいませんでした。

屋根裏部屋に住む中年男性もいました。彼は一階のおばあさんの息子。知的障害者でした。彼は私たちのゴミ出しや雪かきを手伝ってくれました。両親とは減多に食事を共にしませんでした。ほとんどの時間は寝ているか、自分の部屋に籠り、お腹が空くとパンと牛乳を買いに出かけました。

お隣のカツ夫人は、夫と4歳の娘と一緒に暮らしていました。彼女は大学で秘書を勤め、留学生らの事柄に興味を持っていました。彼女は若くて容姿端麗で好感の持てる人でした。ある時、ルームメイトと私は彼女からコーヒーに誘われ、そこで彼女の夫に会いました。お互いの紹介が終わるやいなや、彼はひどい頭痛がすると言い、会話が進むにつれますます憂鬱になりました。

後日カツ夫人から、夫は病院の精神科クリニックで2か月過ごし、戻ってきたばかりだと聞きました。1年前、カリフォルニア大学バークレー校で教員をしていたときに精神障害を患ってしまったと。ハーバード大学で無機化学の博士号を取得したことも。

カツ博士はある主題についての7年間の研究を終えようとしていたときに、他の誰かがまったく同じ主題に関する研究を完了したことを知りました。彼は、その研究者が自分のデータを盗んだと確信していました。それを機に、彼は誰も信用することができなくなりました。他人の研究データを盗むことを強制するほど物質主義が支配してはいないと彼が考える東洋に行くことを望んでいます。

M.K.

* 翻訳：平田パトリック龍

January 14, 1967

WEEKLY OKINAWA TIMES

FORUM *Some Americans I Met In Buffalo*

Winter in Buffalo, northern New York, is early to come and stays longer than it does in most areas in the United States. Last winter, 1965-66, the first snow fell at the end of October, and a heavy snow storm hit before and during Thanksgiving holidays. After that Buffalo was covered with white until April.

Seeing icicles through the window growing bigger day by day, Raj, my roommate from India, and I used to tell each other how sunny and colorful summer was in southern India and in Okinawa. Raj and I met each other on the day of our arrival in Buffalo at the foreign students office and decided to share an apartment together.

Raj is still in Buffalo working for her second M.S. in biology at the University of Buffalo. She holds an M.S. from a university in India and had taught at a women's college in Hyderabad for seven years before coming to the United States on a Fulbright scholarship. But she has to have a master's degree from a U.S. university to achieve a doctorate in the U.S.

Nancy, a young glamorous art teacher, was our landlady. She had rented the second floor of a house, which had three bed rooms. She was a divorcee dating her ex-husband, who was a senior psychology student at the university. They had been married for two years when they were separated a year before we started living together.

They were planning to remarry in spring upon his graduation. The reason for their divorce was, according to Nancy, the fact that she supported her student husband, which caused mental imbalance between them. Avoiding falling into the same trap again, she was preparing herself for a happy second marriage with the same man.

Nancy used to go to group psychiatric therapy two nights a week. She paid some two thousand dollars a year to the therapist, which made her feel certain she would be happy. She thought it was just like buying a happy life for the future.

Raj and I had to move out of the house to let Nancy's husband in. Their re-engagement, however, was broken again right before we moved out. We do not know the reason, for we never asked Nancy

for it. Nancy also moved out on the same day we did. She gave many things to us, for she did not want to take the past with her. She left the place, which was to be home-sweet-home when she married again, with her pet monkey in the middle of winter.

One more thing to be mentioned about Nancy is that she painted herself in the nude, looking at a mirror in her room, at night. It took about ten days for her to finish the painting. She displayed the picture in the living room which the three of us shared. Anyone who knew Nancy could tell that she was the model of the picture. Raj stopped taking her friends home for tea on Sunday afternoons, which had been her pleasure.

An old couple, who lived downstairs with a huge grouchy dog, were the owners of the house. They looked like they had lived for more than a hundred years in the same place in the same way. The man himself said he was ninety-seven. His wife was a sick person; she looked like a cast-off skin. They never went out of the house and rarely had visitors.

They looked at the world through their window. Anyone coming close to the house had to be barked at and stared at through the window. They tried to be nice to us and asked us to visit them. They had a big photo of a young, nice-looking man in uniform in the best place of their living room. When I asked who it was, the old man answered it was his wife's ex-husband, who was an officer on a merchant ship. I never understood why they proudly displayed the picture.

"Is Tokyo as big as Buffalo?" is the question I was asked by the old man more than several times. The population of Buffalo is 58,000, excluding its widespread suburbs. Each time I simply answered, "Yes."

There was a professor of mathematics living with the old couple. He had been a Rumanian until he was naturalized ten years

before. He had breakfast with the couple. Every evening at 6 o'clock he went out for dinner, regardless of the weather. We often saw him standing at a corner of our street or sitting with a cup of coffee at a nearby hotdog place. He had no mail coming and no friends to visit with.

A middle-aged man living in the attic was another member of the household. He was a son of the old woman downstairs. He was mentally retarded. He helped us take out garbage and shovel snow. He rarely ate with his parents. He slept or at least stayed in his room most of the time and went out to buy bread and milk whenever he was hungry.

Mrs. Katz was a lady living next door with her husband and a four-year-old daughter. She was a secretary at the university, interested in foreign student affairs. She was a young, nice-looking and likable person. One evening my roommate and I were invited by her for coffee, and there we met her husband. As soon as we finished introducing one another, the man said he had a terrible headache. During our conversation he became more and more melancholy.

Mrs. Katz told us later that her husband had just returned from a hospital, after spending two months in the hospital's psychiatric clinic. He had had a mental breakdown a year before that, when he was teaching at the University of California at Berkeley. He holds a doctor's degree in inorganic chemistry from Harvard.

Dr. Katz had been doing research on a subject for seven years and was about to complete it when he found out someone else just completed research on the same exact subject. He was sure that the scholar had stolen his data. Since then he does not trust anyone. He wants to go to the Orient where, he thinks, materialism is not so dominant as to force anyone to steal someone else's research data.

M. K.

1967年1月14日

混血児の福祉向上

コザで懇談会

琉米婦人が協力

ISS 養子縁組などを世話 中心に

【コザ】二日からの晩まで、琉米福祉週間のご案内「二日午前十時半からコザ市山里区の国際社会事業団(ISS)事務所で琉米合同の児童福祉対策懇談会が開かれた。民政婦人部会員のヘンリー・オスボン夫人、同チャールズ夫人、同メリン夫人それにハッセンISS事務局長はじめ沖繩側から瑞穂中部地区婦人連合会長、仲宗根コザ婦人会長、兼城中部地区訪問教師、比嘉コザ職業補導所長、島、仲村同ISS理事ら関係者が出席して開かれた。とくに混血児の問題について活発な討論が交わされ、国際間の養子縁組の諸問題は混血児の将来などについて意見を交換した。

社会から冷たい目でみられがちな
薄幸な混血児の問題は将来沖繩の
大きな社会問題として考えたいか
なければならぬ。混血児の多く
はその両親が正當な婚姻関
係でなく、また一般の混血児に対
する理解が薄いため、精神的また
は経済的困難の中に苦しみ福祉の取
で欠けている。こうした不運な境
遇にある多くの混血児に対し、手摺
な生活を送らせるには琉米双方の
人たちが互いに協力、理解するこ
とが最も大切である。

血児がいろいろといわれ、また二歳
から十歳までの間に盛りの
まき問題などが将来これを混血
児が成長し、思春期に達し社会人
として世に出る場合、とくに無
人の混血児には精神的にいろいろ
なる問題がおこり、こころもつか
いが心配されている。
やはりこうした混血児問題を解
決するには一般社会の人々のあ
たためる援助と理解が必要で、
なかでも琉米婦人間の深いつな
がり、理解と協力が先決である
と語っていた。

このためこれを機会に開かれた会
合でISSの事務局長オスボン氏も
力して混血児の児童福祉の向上を
はかっていることになった。ISS
の養子縁組をとりまわっている
が、日本の法律と米国の法律と
の相違からくるいろいろの問題点
で国際間の養子縁組に支障をきた
してきた。これは琉米間の婦人
幹部の理解と協力によって法律の
問題点について検討し、混血児を
かかす不安や悩みをもつ親は遠慮
なくISSの門をたたくよう婦人

会もケースワーカーあたりながら
指導助言とその啓発運動をすす
めていくことになった。

沖繩に現在約二千人の混

1962年5月3日

